

生命環境科学域 獣医学類

College of Life, Environment, and Advanced Sciences / School of Veterinary Science

生命
を学ぶ



真理を
究める



りんくうキャンパス
Rinku Campus

獣医学を基盤とした世界にはばたく知の拠点



**動物生命科学の
基礎・応用・臨床
すべてを体系的に網羅する
獣医学教育研究拠点**

人は、古くから動物とともに生活してきました。動物は、人の命と健康を支え、心に安らぎと元気を与えてくれるなど、私たちの生活や社会にとってかけがえのない存在です。

近年、獣医学に立脚した生命科学分野への期待が高まっています。伴侶動物の健康の維持にとどまらず、バイオメディカル分野への貢献、人と動物の共通感染症の制圧、食の安全の確保・食の安心の担保、破壊された生態系の回復など、獣医学のさらなる貢献が期待されています。そのために、優れた見識と技術を兼ね備え、世界のリーダーとなる獣医師や研究者の育成が課題となっています。私たちは実践的な教育研究拠点を目指し、「りんくうキャンパス」を開設しました。生命の尊厳を守る現場となる高度獣医療施設（獣医臨床センター）、多様な生命現象を革新的に科学する先端研究施設（産学官連携施設、動物科学教育研究センターなど）など、実践的な獣医臨床設備とあらゆる研究目的に対応可能な実験設備や研究施設が完備しています。

私たちは、「人と動物が共生できる社会」を目指し、都市圏における動物生命科学の中心的拠点として高度な教育研究、動物の医療を通して社会に貢献することが使命であると考えて活動しています。

私たちのこれからの展開にご注目下さい。



りんくうキャンパス

〈獣医学舎〉

教育

獣医学類・獣医学専攻
獣医療、動物生命科学において
国際的に活躍できる
専門性の高い人材の輩出

診療

獣医臨床センター

伴侶動物・産業動物・
野生動物を対象に
病態解析、診断、治療を
通じて社会に貢献

Rinku Campus

研究

動物科学教育研究センター
動物の特性・飼育・実験方法
など、適正な動物実験に
関する情報の集積

産学官連携施設

先端機器を備えた
共同利用研究施設

沿革 ~History~

1883年
(明治16年)
2月5日

大阪獣医学講習所設置
(府立大阪医学校内)



勝山学舎史蹟碑

1888年
(明治21年)
10月22日

大阪府立農学校
(農科・獣医学)開設

1890年
(明治23年)
12月21日

古墳御勝山地区(大阪府東成郡猪飼野鶴村)に校舎を移転し、
家畜病院(大阪府立農学校附属家畜病院)を竣工
(勝山農学校と呼ばれ親しまれる)



大仙家畜病院

1926年
(大正15年)
10月21日

堺市大仙町に移転

1942年
(昭和17年)
1月31日

大阪府立農学校に大阪高等獣医学校が併設され、
大阪高等獣医学校・附属家畜病院に改組・改称

1945年
(昭和20年)
4月1日

大阪高等獣医学校を大阪獸医畜産専門学校と改称
(浪速大学農学部獣医学科の前身)

1949年
(昭和24年)
4月1日

浪速大学設置に伴い、浪速大学農学部
(獣医学科・農学科・園芸学科・農芸化学科)を設置

1955年
(昭和30年)
4月1日

1955年
(昭和30年)
9月1日

1969年
(昭和44年)
4月1日

1970年
(昭和45年)
8月5日

2000年
(平成12年)
4月1日

2005年
(平成17年)
4月1日

2009年
(平成21年)
4月1日

2012年
(平成24年)
4月1日

浪速大学大学院農学研究科獣医学専攻(修士課程)を設置

大阪府立大学に改称
大阪府立大学農学部附属家畜病院に改称



旧附属獣医臨床センター

大学院を農学生命科学研究科に改称

公立大学法人大阪府立大学生命環境科学部獣医学科・
大学院生命環境科学研究科獣医学専攻に改称
生命環境科学部附属獣医臨床センターに改称



りんくうキャンパス動物慰靈碑

学科を生命環境科学域獣医学類に改組・改称



りんくうキャンパス〈正面〉

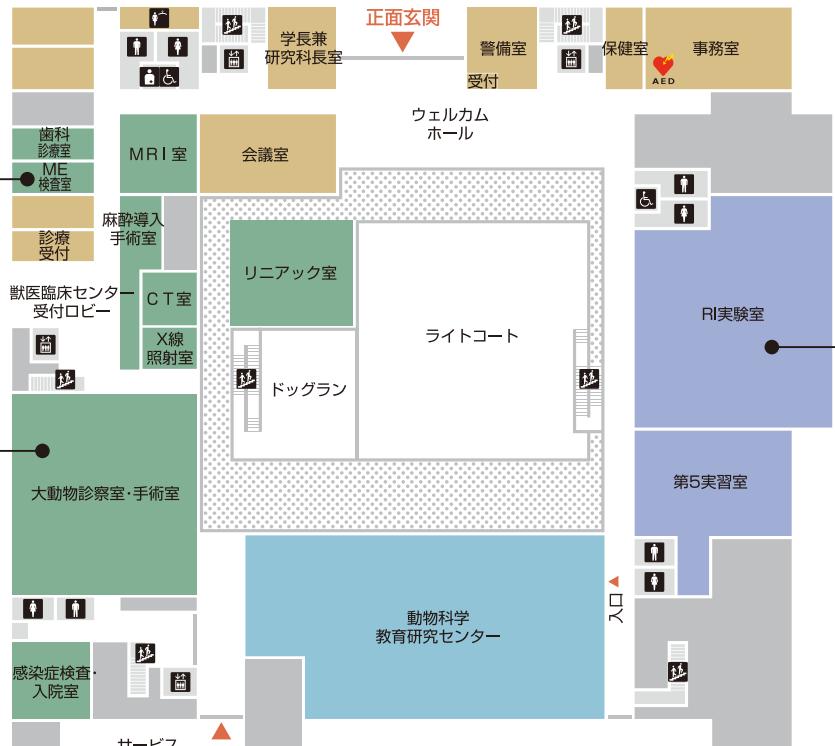


Rinku Campus Guide

1F



ME検査室



RI実験室



大動物診察室



カンファレンスルーム

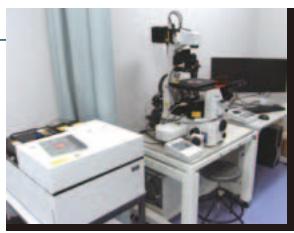


眼科検査室



図書室

2F



細胞分析室



手術実習研修室



入院室



3F



実習室



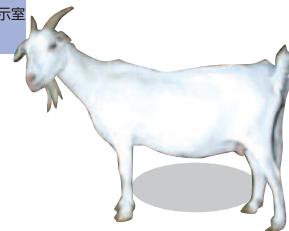
4F



研究室



多目的ホール



5F

先進的で実践的な教育・研究で動物生命科学をリードする

～近畿圏で唯一の獣医学の教育・研究機関～

高い学識と技術を備え、広範囲にわたる獣医学関連の
諸問題に対応できる獣医師と研究者の養成

獣医学類 獣医学専攻

Veterinary Science

獣医学は動物の医療を根幹とする総合的な動物生命科学です。近年、長寿化する伴侶動物の健康確保、人と動物の国際的な移動と物流の増大がもたらす人獣共通感染症の脅威、食品・医薬品の安全性、環境破壊に付随する生態系の変化など多くの問題が顕在化し、獣医学の学問的・社会的な重要性と必要性はますます高まっています。このような社会情勢を念頭に、私たちは獣医療のみならず、人と動物の生命環境に関する諸問題に適切に対応し、動物バイオ産業分野の発展に貢献することができる人材を育成することが責務であると考えています。

獣医学類では、動物の構造から機能ならびに動物の感染症等に関する幅広い知識と技術を教授するとともに動物愛護を行動規範とする高い倫理観を涵養するなど獣医学に関する実践的な教育・研究を通じ、優れた学識・見識・技術を兼ね備えた獣医師や専門技術者の養成を行っています。また、獣医学専攻では、充実した教育研究環境を通じて、高度かつ先進的な専門教育を行い、動物医療および動物科学など獣医学に関連する多岐にわたる分野において独創的な指導能力を発揮し国際的に活躍できる高度専門技術者や研究者の養成を行っています。





動物のからだのしくみを探り、病気を治療・予防するために・・・

▼動物構造機能学分野▼

統合生体学領域

〈研究室〉

獣医解剖学/獣医病理学/実験動物学

科学的・倫理的な動物実験の知識・技術、動物の体を構成する細胞・組織・器官の発生と構造および疾病時の病態発生機序とその病理形態学的变化に関する教育・研究を行います。

統合バイオ機能学領域

〈研究室〉

統合生理学/応用薬理学/細胞分子生物学

生命現象を司る分子・細胞・組織ならびに生体における機能、およびそれらの相互調節機構について教育・研究を行います。最新の動物バイオに関する情報を発信します。

▼獣医環境科学分野▼

生体環境制御学領域

〈研究室〉

毒性学/獣医公衆衛生学/獣医免疫学

食品・環境中の因子が生体に与える影響とその解析評価法、毒性発現機構、病原体に対する生体防御機構などについて教育・研究を行います。

感染症制御学領域

〈研究室〉

獣医微生物学/獣医感染症学/獣医国際防疫学

感染症の原因となる病原体の特性、病原体の感染・発症機構およびその病態、集団における感染症発生のリスク分析とその予防・制御法について教育・研究を行います。

▼獣医臨床科学分野▼

先端病態解析学領域

〈研究室〉

細胞病態学/獣医放射線学/獣医繁殖学

動物の繁殖現象と内分泌、血液の調節機構、放射線の生体に対する作用解析ならびに病態時のそれらの異常と疾病診断への応用、病態の成因などの教育・研究を行います。

高度医療学領域

〈研究室〉

獣内科学/獣外科/特殊診断治療学

疾病的診断・治療・予防学に関する教育・研究を通じて高度獣医療に対する社会要請に迅速に対応し、動物愛護・福祉の精神を持って社会に貢献する獣医師の育成を行います。

動物と人の健康を守り、 豊かな社会を築くため、そして生命環境を守るために・・・

治療

動物の病気の診断
高度獣医療の開発
有用な医薬・動物薬品の研究・開発

解明

- 動物の体の構造と機能の解明
- 動物の病態生理の解明
- 疾患モデルの開発

予防

病原体の探究
感染症・食中毒の予防
新興・再興感染症の制御

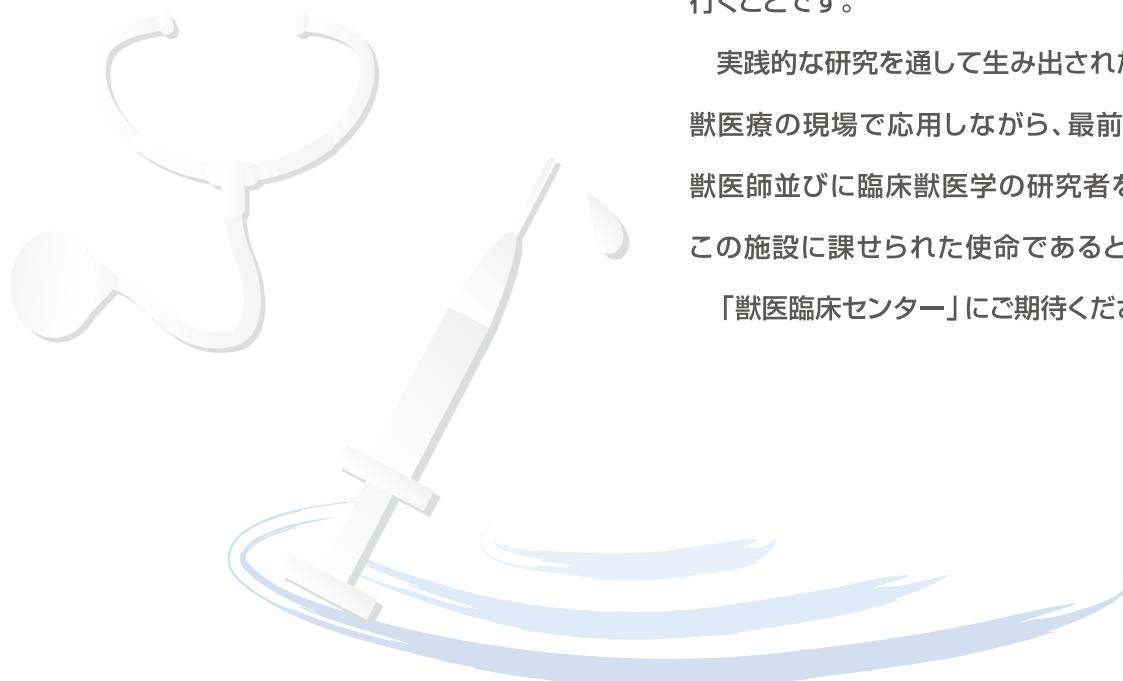
獣医学

充実した診療設備で先進的な臨床獣医学を実践する

獣医療の拠点

獣医臨床 センター

Veterinary Medical Center



人と動物の共通感染症の脅威、食品・医薬品の安全性、環境破壊による生態系の変化など、獣医学関連分野の重要性が年々高まりを見せている中で、動物の医療も急速に進歩し、社会的な期待も大きくなっています。そこで、多様な社会的ニーズに対応するために、より先進的かつ実践的な獣医学のための創造拠点を目指し、「獣医臨床センター」が誕生しました。

当センターが目指すものは、動物科学の基礎と応用分野における優れた見識・技術を備えた獣医師の育成=「教育的見地」、複雑化する社会構造に適切に対処できる創造的な獣医学の探究=「研究的見地」、生命の尊厳を真剣に考え、より高度な獣医療を実践=「医療的見地」を通して、三位一体となった獣医療の革新的な中心拠点施設としての重要な役割を担って行くことです。

実践的な研究を通して生み出された新しい発見や技術を、獣医療の現場で応用しながら、最前線で実践し、先進的な獣医師並びに臨床獣医学の研究者を養成して行くことが、この施設に課せられた使命であると考えています。

「獣医臨床センター」にご期待ください。



生命の尊厳を守ります。高い専門性と最先端の医療機器で、
獣医療を提供します。新しい獣医療技術の開発にも努めています。

伴侶動物等を対象に、最新の診断・治療機器を
駆使して、専門治療科ごとの診療を行っています。

診療科目	診療内容
内科診療科	一般的内科疾患の診断・治療を行うとともに、特定疾患については、皮膚・免疫病外来などの特別専門外来で診療を行います。
外科診療科	一般的外科疾患の診断・治療を行うとともに、腫瘍・神経病・泌尿生殖器疾患などの特定疾患については特別専門外来を設置して診察を行います。
繁殖診療科	生殖器（卵巣、子宮、腟、精巣など）疾患の診断・治療、正常動物の避妊・去勢、交配と妊娠診断、精液検査などを行います。
放射線科	放射線感受性の強い腫瘍性疾患を対象に放射線治療を行います。
検査科	血液検査、尿検査および血液生化学検査などの臨床病理学的検査を行うとともに、病理組織学的検査および微生物学的検査を行います。
麻酔科	各種検査および手術の際の麻酔管理を安全に行うとともに、疼痛管理を行います。
中央手術部	手術を必要とする疾患の手術を行います。
入院管理科	夜間および休日の入院動物の管理を行います。

診療案内

- 診療科により、診療日および時間が一部異なります。
- 診察には予約が必要です。事前に電話予約をお願いします。
- 面会には担当獣医師との事前打合せが必要です。

診療時間

- ◆ 平日（月曜日～金曜日）
- ◆ 休診日：土・日・祝



午前診療	9:00～12:00 (受付終了 11:30)
午後診療	1:00～5:00 (受付終了 4:00)

面会時間

平日 (月曜日～金曜日)	午後 1:00～5:00
土・日・祝	午前 10:00～5:00

【センター受付】
TEL: 072-463-5082

獣医臨床センターは、疾患の病態解析、診断、治療、予防のための
新しい技術の開発や、臨床試験にも取り組んでいます。

- 新規薬剤・医療材料や治療技術の臨床試験
- 新規薬剤・医療材料等の安全性試験
- 新規医療機器の試用など



獣医臨床センター

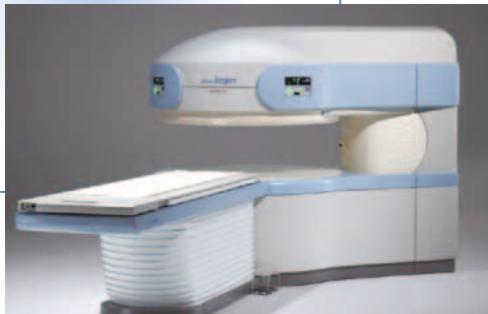
動物の先端医療を行うため、MRI、X線CT、電子内視鏡などの高度診断機器、並びに、リニアック放射線治療装置、超音波・レーザーメス、血液透析装置、直視鏡下手術装置などの先端的治療機器を導入するとともに、準無菌的陽圧手術室、ICU入院室、感染症診療・入院室を設置しています。

高度なレベルの医療機器を使用し、
安全で確実な治療を行います。



X線CT検査装置

迅速な断層撮影並びに
3D画像等を描出して
体内的病変を検査します。



MRI検査装置

脳・脊髄等の神経系疾患の
診断が可能です。



手術用X線透視装置

手術中にX線透視検査を行い、
確実な手術を可能にします。



直視鏡下手術装置

関節鏡および腹腔鏡としての直視鏡下検査
および手術を行います。



リニアック放射線治療装置

先進的で効果の高い高エネルギーX線照射治療装置です。

手術室



臨床センター施設

Veterinary Medical Center Facilities

診療受付



初診受付、再診登録、会計を行います。

臨床病理検査室



各診察室につながっており、血液検査や尿検査などを行います。

診察室



初診および再診時にお話を伺う診察室です。

CT室



X線コンピューター断層撮影による断層画像や3D画像などで体内の病変を検査します。

ドックラン



犬の運動場です。他の犬とものびのび過ごせます。

待合ロビーと薬局



診療を待つて頂くロビーは、薬をお渡しする薬局に隣接しています。

手術見学室



大きなガラス窓およびTVモニターにより手術中の様子を見学できます。

ICU入院室



手術、検査、ICU入院、動物種類別の入院室があります。

超音波検査室



超音波診断装置による無侵襲な画像で体内の病変を検査します。

産学官連携の研究拠点として明日の動物生命科学を開拓する

動物の特性・飼育・実験方法など、動物実験に関するあらゆる情報が集積した総合実験動物施設

動物科学教育 研究センター

Research Center for Experimental Animal Science
(RCEAS)



当センターは、教育・研究を目的にした共同利用実験動物施設として、りんくうキャンパスに設置されました。病気発症のメカニズムの解明や治療法・治療薬を開発する研究など様々な動物実験を行うことができ、獣医学を核とした動物バイオに関する実践的な教育・研究をサポートします。

マウス、ラットなど小型の動物からイヌ、ネコ、ブタなどの中型の動物を、適正な環境で飼育する実験動物施設です。特定の病原体を持たないSPF動物や遺伝子改変動物を飼育する設備、人と動物の共通感染症を予防する研究を支援するBSL2対応実験設備を備えています。

さらに、当センターには、動物の特性・飼育・実験方法など動物実験に関するあらゆる情報が集積されており、効率的な施設活用や適正かつ適切な動物実験に関する情報を提供しています。また、動物福祉・動物愛護の啓発も担っています。



実験動物の飼育・実験方法を実践的に学ぶ

動物科学教育研究センター

教育サポート

関連法規・動物福祉に基づいた動物実験に関する講習

研究サポート

動物実験のための施設提供と教育指導

社会貢献

動物福祉に基づいた研究指導と啓発活動

産学官連携

食品・食品添加物、医薬品、農薬等の生体への影響を調べる基礎的な研究に対して、適正な動物飼育・実験環境を提供する。

共同研究・研究支援

*疾患モデルの開発と応用

(神経系疾患、代謝疾患、腫瘍性疾患、免疫疾患、感染症、外科手術誘発疾患など)

*評価システムの開発と応用

検査する化学物質や食品の投与

生理活性解析

遺伝子解析

病理組織学的検査

代謝活性解析

薬効薬理学的評価

動物行動解析

医薬品の有効性・食品の機能性・安全性のスクリーニングと毒性評価



充実したユーティリティー

適正な飼育環境とBSL2対応感染動物実験の提供

最新鋭の産学官連携を支える施設

動物実験関連機器の充実



ヒトの安全を最大限考慮



産学官連携施設・共同利用施設

- ・BSL2/3実験室
- ・大型先端機器関連施設・RI実験施設
- ・共同備品室・菌株保存室・低温室
- ・セミナー室/カンファレンスルーム

関西の「知」の創造拠点である「りんくうキャンパス」には、学術研究活動、実践的な獣医臨床活動を通じて、動物生命科学における多様な研究成果が知的財産として蓄積されます。その「知財」は、人類共通の資産として社会に還元されなければなりません。この点から南大阪地区の「知」の中心拠点となる「りんくうキャンパス」の社会的な役割は重要です。長期的な視点から、教育研究を通して社会に貢献することはもちろん、常に民間企業や政府・自治体との連携を密に実践することで、蓄積する「知財」を、直接社会に還元していきます。それが、「知」の創造拠点で活動している私たちの重大な使命であると考えています。

国際的視野に立ち、先進的かつ革新的な研究活動を行い、創造されたあらゆる成果を公共の立場から社会に役立てて行くことが私たちの目指す「知的創造サイクル」です。

産学官連携施設・共同利用施設は「知的創造サイクル」の拠点です。

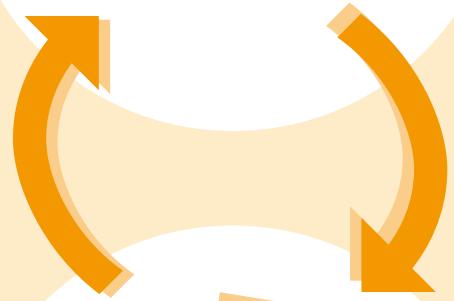


透過型電子顕微鏡

産学官連携 知的創造サイクル



- 「知的創造サイクル」を実践できる人材の輩出
- 先端機器・設備を活用した実用的研究
- 研究成果の技術移転への組織的な取り組み
- 研究成果・開発技術など研究情報の集積・発信



民間企業 研究機関

- 研究開発型ベンチャーの創出推進
- 産学官共同研究の拡充
- 教育機関への研究者、専門家の派遣
- 研究成果、新技術の実用化

産学官連携プロジェクト

動物科学教育研究センター・獣医臨床センターとも連携

- 疾患の診断・治療法の開発
- 新規疾患マーカーの探索
- 新規開発における新規標的タンパク質の探索
- 新規機能性食品の開発
- 疾患や感染症に関する新規タンパク質の探索
- 病原菌の高感度検出法の開発

BSL2/3施設

- ・各種病原体を安全に取り扱うための施設
- ・P2/P3遺伝子組換実験にも対応
- ・病原体の培養および取扱い機器を完備

BSL2対応実験室

食中毒原因菌(O157等)等の病原体の取扱いが可能



BSL3対応実験室

ウイルス(高病原性トリインフルエンザウイルス等)や細菌(結核菌等)の取扱いが可能



BSL2/3施設で行う研究

- ・病原体の分離・同定
- ・病原体に対する新規物質の効能試験
- ・遺伝学的系統解析による病原体の同定
- ・病原体の分子疫学的解析
- ・病原体および病原因子の病原性の解析



大型先端機器関連施設

動物バイオを中心とした高度な教育研究と
産学官連携の共同研究を推進するため、
最新の大型分析機器を配備した共同利用施設



H3レーザー顕微鏡

遺伝子発現解析

- 様々な疾患や感染症に対する
診断法への応用
- ・DNAキャピラリーシークエンサー
 - ・パルスフィールド電気泳動システム
 - ・リアルタイムPCR装置



キャピラリーシークエンサー

プロテオーム解析

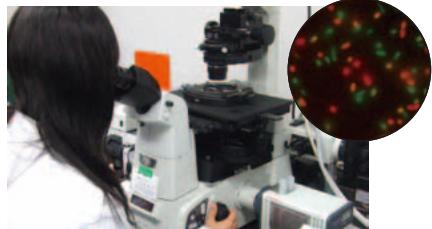
- 病気の治療や感染防御の標的となる
タンパク質因子の同定
- ・質量分析器
 - ・生体分子相互作用解析システム
 - ・超遠心機



LC-MS分析装置

細胞機能解析

- 細胞レベルで
形態と機能を解析
- ・ライブセルイメージングシステム
 - ・共焦点レーザー顕微鏡
 - ・走査型・透過型電子顕微鏡



ライブセルイメージングシステム

RI実験施設

放射線同位元素(RI)を利用した教育研究を行う
共同研究施設



RI管理センター

- ・RI実験室
- ・RIセミハイレベル実験室
- ・RI低温室
- ・RI暗室
- ・RIP2実験室

- ・RI管理室
- ・RI貯蔵庫
- ・RI汚染検査室
- ・RI廃液貯留室



RI用イメージアナライザー

りんくうキャンパス事務室

〒598-8531

大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地の58

TEL 072-463-5056〈代表〉 FAX 072-463-5093

http://www.bioenv.osakafu-u.ac.jp/vet/vet_index.html

<http://www.vet.osakafu-u.ac.jp/>



公立大学法人
大阪府立大学
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点～

<http://www.osakafu-u.ac.jp/>



大阪府立大学 りんくうキャンパス

- ・生命環境科学研究科獣医学専攻
- ・獣医臨床センター
- ・動物科学教育研究センター
- ・産学官連携施設



<お車にてお越しの方>

- ・阪神高速4号湾岸線【泉佐野南出口】を下り、臨海北2号交差点を右折
- ・関西空港自動車道【泉佐野IC】を下り国道481号線を直進、空港道臨海南交差点を右折し、臨海北2号交差点を左折

<電車でお越しの方>

- ・南海空港線「りんくうタウン」駅下車。北東へ約400m、徒歩約6分
- ・JR関西空港線「りんくうタウン」駅下車。北東へ約400m、徒歩約6分